

農林水産省と同時発表

平成29年 6月22日

都市局公園緑地・景観課

提案のあった取組について、13件を選定しました
～平成29年度 都市と緑・農が共生するまちづくりに関する調査～

国土交通省と農林水産省が連携し、平成29年3月23日から4月21日まで提案を募集していた、「平成29年度 都市と緑・農が共生するまちづくりに関する調査」について、審査の結果、13件を選定しました。

国土交通省と農林水産省は、3月23日より、緑地・農地と調和した良好な都市環境・都市景観の形成、都市農業の多様な機能の発揮などを促進するための方策を即地的に検討するため、地方公共団体等における都市と緑・農が共生するまちづくりの実現に向けた調査の取組内容について、提案募集を行いました。

今般、応募のあった提案について、有識者からなる評価委員会による審査の結果、13件を選定しました。概要は、別紙のとおりです。

【問い合わせ先】

1. 国土交通省の選定結果について

国土交通省 都市局 公園緑地・景観課 緑地環境室 担当：望月、煙山

TEL 03-5253-8111（内線32912、32963）

03-5253-8420（直通）

FAX 03-5253-1593

2. 農林水産省の選定結果について

農林水産省 農村振興局 都市農村交流課 都市農業室 担当：吉村、井上

TEL 03-3502-0033（直通）

FAX 03-6744-0571

平成29年度 都市と緑・農が共生するまちづくりに関する調査 選定概要

・ 国土交通省：12件

テーマ	選定団体	調査実施地域	提案名
①	宇都宮市都市農地のあり方検討協議会	栃木県宇都宮市	ネットワーク型コンパクトシティ形成における魅力ある田園生活空間の創出に資する安定的な農地活用に関する実証調査
①	NPO 法人環境文化プロジェクト機構	福岡県福岡市	農体験型都市公園を核とした市街地縁辺部における都市・農村共生まちづくりの実証調査
②	川越市緑地公園活用連絡会	埼玉県川越市	公園活性化協議会制度に基づく複数の小規模公園群の農的利用活用実証調査
②	東京都心部における緑化推進検討会	東京都特別区	東京都心部における質の高い緑の誘導推進方策の検討調査
②	小金井市都市農地保全活用検討協議会	東京都小金井市	小金井市における都市農地保全活用手法の検討を中心とした農地及び公園緑地に関する実証調査
②	八王子市「東京クラインガルテン」検討協議会	東京都八王子市	空家活用等による「東京クラインガルテン」実現方策検討調査
②	柏市農とのふれあい推進協議会	千葉県柏市	郊外都市における農とのふれあいの場の創出による農地保全・活用策の検討
②	秦野市都市農地保全活用推進協議会	神奈川県秦野市	秦野市における農業体験農園等を拠点とした都市農地の担い手育成と貸借推進方策検討調査
②	知立市小規模都市農地活用保全協議会	愛知県知立市	小規模都市農地の活用保全に資する多様な担い手育成システム構築実証調査
②	NPO 法人 Co.to.hana	大阪府豊中市	都市部の未利用地のコミュニティ農園活用方策検討調査
②	伊丹市農福連携方策等検討協議会	兵庫県伊丹市	生産緑地を活用した農福連携推進方策等検討調査
③	静岡県広域景観検討協議会	静岡県	静岡県における自然環境と調和した太陽光パネルの景観誘導施策の検討調査

・ 農林水産省：1件

テーマ	選定団体	調査実施地域	提案名
④	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	東京都国分寺市	ICTを活用した都市部農家・レストラン・消費者連携システム実証調査

募集概要

【募集内容】

緑地・農地と調和した都市環境・都市景観の形成や「都市農業振興基本計画」等を踏まえた都市農業の多様な機能の発揮を促進するための即地的な検討を行う取組

（募集テーマ）

- ①立地適正化計画など、人口減少等に対応したまちづくりに関する計画と連携した緑地や農地の保全に関する取組み
- ②良好な都市環境の形成に向けた、市街地における緑地・農地及び景観の保全・創出・活用
- ③広域的な観点から取組む緑地・農地及び景観の保全・活用
- ④都市農業におけるICT技術の活用及び海外市場の開拓

【応募主体】

- 地方公共団体
- 地方公共団体を構成員に含む団体（協議会等）
- 緑地管理機構又は景観整備機構
- 上記以外の民間団体

【委託経費】

1件あたりの上限額は概ね800万円程度

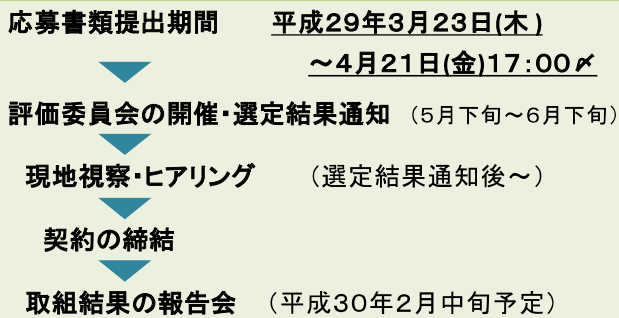
【採択件数】

予算の範囲内で採択

【委託期間】

契約締結日の翌日～平成30年3月上旬

スケジュール



提案の評価方法

募集テーマに沿った提案について、以下の評価方針に基づき、有識者からなる評価委員会で評価し、選定団体を決定する。

- 提案する取組と本調査の趣旨との整合性
- 提案する取組の先導性、汎用性
- 提案する取組の実現性

都市と緑・農が共生するまちづくりに関する調査（平成29年度）

人口減少、少子高齢化等を踏まえた計画的な土地利用コントロールによる緑地・農地と調和した都市環境・都市景観の形成や、平成28年5月に策定された「都市農業振興基本計画」等を踏まえた、都市農地の保全や都市農業の多様な機能の発揮に関する取組みを即地的に検討する直轄調査を行う。

調査内容のイメージ

即地的な検討を行うため、地方公共団体等への委託（国庫委託金）による国の直轄調査を実施

地域における都市と緑・農が共生するまちづくりに関する課題（右欄のテーマ①～④）の解決に向けた取組を公募

地方公共団体等が取組を提案

第三者委員会により提案を選定

地方公共団体等と委託契約を締結し、地域の状況に即した実証調査を実施

テーマ① 立地適正化計画など、人口減少等に対応したまちづくりに関する計画と連携した緑地や農地の保全に関する取組み

- 例)・誘導区域内外の実態に応じた、農地と宅地が調和した良好な居住環境と営農環境の形成を図る取組
- ・多様な主体が、誘導区域内外で発生する空き地等をレクリエーションやコミュニティ空間等として活用し、良好な居住環境の維持・向上を図る取組
- ・緑の基本計画等において、都市農地の多様な機能を適正に評価するとともに、これらの機能の持続的な発揮を図る取組

テーマ② 良好な都市環境の形成に向けた、市街地における緑地・農地及び景観の保全・創出・活用

- 例)・都市緑地法等の改正を踏まえた、緑地や農地の一体的な保全・活用の実現に向けた方策の検討
- ・農地や空き地等を活用した緑地における貸し手と借り手のマッチングの仕組みの構築や中間組織による緑地等の整備・管理に関する検討
- ・市街地における生態系ネットワークの形成手法、モニタリング手法の検討
- ・景観計画における景観形成基準の定量化の手法の検討
- ・景観計画等の景観施策と空き地・空き家対策との連携手法の検討

テーマ③ 広域的な観点から取組む緑地・農地及び景観の保全・活用

- 例)・広域的な緑地のネットワーク形成、保全方針の策定、及び広域連携組織の立ち上げ等に向けた検討
- ・太陽光発電設備、小型風力発電設備等と周辺環境が調和した景観の形成に向けた検討
- ・良好な景観の形成に向けた基本方針の策定や広域連携に向けた合意形成手法の検討
- ・案内板等の公共サインのデザイン調整やガイドライン等に基づく行為の制限等の基準の統一に向けた検討

テーマ④ 都市農業におけるICT技術の活用及び海外市場の開拓

- 例)・消費地に近いという特性を生かした流通・取引体系の構築

